



取り付けイメージ

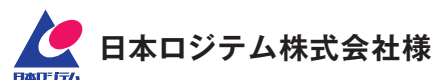


ロジレコなら新機能を随時アップデート

- 通信型なので常に最新機能を利用できる
- アップデートの操作不要 ●買い替えの必要なし



お客様の声 Customer's Voice



車両台数 224台

ロジレコを初めて知った時、AIによる運転行動の可視化で安全指導に十分なリスクを把握できるのか、興味深い印象でした。既存のドラレコでは加速度センサーの異常値を伴わない脇見運転や不完全な一時停止などの検出はできず、安全指導に必要な十分なリスクの把握は困難な状況でした。また、運転中の飲食や喫煙、携帯電話の使用禁止といったルールがあっても見えないため管理指導ができていませんでした。

ヒヤリハットやリスク運転が発生した際、クリップ機能で指導コメントを入力することで管理者全員で共有し合い、ポイントを絞った指導を実施しています。

AIが危険検知可能な8項目中、1項目のみ物流業界の平均値を下回っていたのですが、営業所で根気よく指導していくうちに意識が高まり改善されました。このような業界平均と自社の比較ができることで指導がしやすいです。

リスク運転の動画に上がっているのは意外にもベテランの乗務員が多いです。運転の癖や自己流の運転に気づいていないベテランにもロジレコは有効だと感じています。



車両台数 121台

ロジレコ導入前から設置しているドラレコが前方カメラのみのため、事故が発生した際にドラレコの映像を確認しても事故の瞬間ドライバーがどのような状態であったのかわかりませんでした。事故を未然に防止して減少させることを最大の目的としてロジレコを導入しました。導入前に数台トライアルすることができ、有効なツールであることがわかったため、全車両に導入しました。

特に著しい危険運転があった際はリアルタイムで管理者にメールが届くため、すぐに必要な対応ができることと、そのような本当に危険な運転があった際はトラック車内で警報音が鳴りドライバー自身に知らせることができる点が気に入っています。

ロジレコの動画や注意事項は、安全マネジメント室での法定12項目・KYT研修等の教育にも活用し、事故件数はロジレコ導入前と比較すると右肩下がりに減少しました。

今後は評価制度にも活用していきたいと考えています。

効果を最大化するアフターフォロー



運用効果を最大化させる定期ミーティング

他社事例を交えて、効果を最大化させるための定期ミーティングを行います。



週次レポートの送付

毎週月曜日に管理者、ドライバーそれぞれに配信される前週の結果からご自身の振り返りを定着化することが可能



業界平均と比較したレポート

リスク運転の行動数、平均スコアなどをレポートとしてお送りいたします。



ユーザー勉強会

他社はどのように活用しているのか?指導の際にどのような工夫をしているのかなど、情報交換をしていただく機会があります。

まずはお気軽に
ご相談ください



0120-659-456



船井総研ロジ株式会社

東京拠点

東京都千代田区丸の内1-6-6 日本生命丸の内ビル22階

大阪拠点

大阪府大阪市中央区北浜4丁目4番10号

ホームページ <https://www.f-logi.com/>

Web



最新AI技術×ドライブレコーダー

AI搭載ドラレコを使った安全教育で事故を未然防止

事故率

48%

削減

修繕費
+賠償金

90%

削減



ロジレコ

AI ロジレコーダー

各都道府県
助成金
対象サービス

国交省助成金
対象サービス

事故防止対策支援推進事業
事故防止コンサルティング

本当に効果のある安全教育 できていますか？

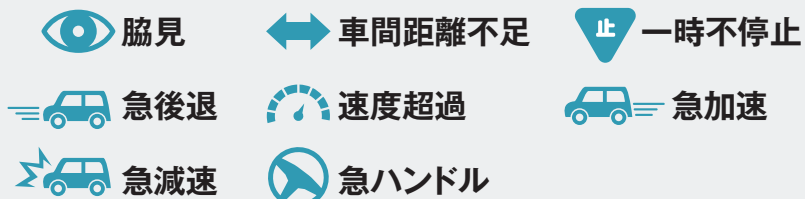
こんなことはありませんか？

- ☒ ドラレコの映像を一つ一つチェックするのは現実的ではないと感じている。
- ☒ 一定の基準で指導ができず、人によって異なる指導になっている。
- ☒ 今までの安全教育では、事故を減らすのに限界を感じている。

AIロジレコなら効率的かつ効果的な安全教育を実現

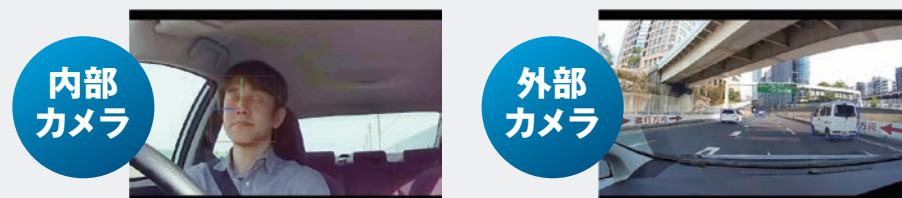
01 AIが8つの潜在的危険運転シーンを検出

日々の運転の中からAIが右記8つの危険シーンを自動検知します。人間に代わってAIが一定の閾値を元に危険運転を検知することで、客観的な基準に基づいた指導が可能になります。指導者からは「人間が映像を確認していた時よりもドライバーが聞き入れてくれるようになった」と好評いただいています。



02 危険映像をリアルタイムに管理者に共有

危険運転と検知された際の動画がリアルタイムで管理者に共有されるため、即時教育が可能となります。



03 各運転項目ごとにスコアがつき指導ポイントが明確になる

8つの危険シーンごとに100点満点で点数化されます。また課題となる運転項目の目標スコアに対して未達成のドライバーはログイン後画面で背景に色がつくため、本当に指導が必要なドライバーと指導ポイントが瞬時にわかります。

目標項目とスコアを確認				危険シーンが多いドライバーを確認				ドライバーがレポート閲覧しているか確認可能			
日付	氏名	目標項目スコア	達成度	動画本数	ドライバー確認	リアクション	声かけ経過日数	声かけ	目標項目スコア	達成度	動画本数
1.10(水)	test-496 テストユーザ496	速度超過 80	71	-9	0	0	確認済	不要 必要 完了	速度超過 80	71	-9
1.15(月)	test-492 テストユーザ492	急減速 100	92	-8	1	1	未確認	不要 必要 完了	急減速 100	92	-8
2.01(金)	test-479 テストユーザ479	急減速 80	86	6	0	0	未確認	不要 必要 完了	急減速 80	86	6
1.10(金)	test-485 テストユーザ485	急減速 90	98	8	0	0	確認済	不要 必要 完了	急減速 90	98	8
2.01(金)	test-478 テストユーザ478	急減速 90	100	10	0	0	未確認	2日前 不要 必要 完了	急減速 90	100	10

AIロジレコでどのように安全指導が変わるのか

1 事故の原因となる軽度のリスク運転の見える化

AIロジレコは事故に繋がる行動を見える化します。例えば運転中のスマートフォン使用など、何気ない行動は事故の原因になりやすい一方で、注意次第ですぐにやめることができます。このような「軽度のリスク運転行動」をなくすことで、事故を未然に防ぎます。

事故を防ぐ行動
●急減速・急加速
●急ハンドル など



運転習慣・癖 >>>>

- 一時不停止 ●脇見 ●制限速度超過など
- 車間距離不足 ●急後退

2 ドライバーごとの運転のクセを日々管理

ドライバーがタブレットやスマホから自身のスコア・危険運転シーン動画を確認できることで、ドライバーそれぞれのクセに合わせた日々の運転習慣の改善を目指すことが可能です。



目標設定項目に対する結果と進捗を確認

危険が検出された場所を確認

動画(数十秒)にて危険シーン詳細を確認

スコア推移を確認し、今後の目標を定める

3 左折時や交差点での安全確認指導が可能

「遠隔動画取得」機能を使うとSDカードに保存されている映像から、日時・車両を指定すると地図情報と共に走行軌跡が表示され、左折時や交差点でどのような安全確認を行っていたのか確認することができます。こういった機能は通信型のドラレコならではの機能です。SDカードの抜き差しする必要はありません。



手間がかからない
データ通信

